

しおさいかわら版

地域学「小名浜みなと学」が開催

小名浜まちづくり市民会議の歴史と文化づくり委員会が企画・運営に協力した、いわき市の『地域学「小名浜みなと学」』が平成28年11月から2月までの間、4回にわたり開催されました。

今月よりその概要を順次掲載していきます

第1回

11月19日に小名浜公民館で開催された第1回講座では、歴史と文化づくり委員会の小野浩委員長が「小名浜が誇る海・港の産業・文化」をテーマに、江戸時代から現在までの小名浜港の移り変わりを中心に講義がなされました。小名浜港といえば漁港のイメージですが、港の整備は石炭積出し



のために進んだとのこと。常磐炭鉱との意外な繋がりを学びました。講義では、小名浜港がまだ海岸だった頃などの古い写真をスライドで投影したり、国土交通省小名浜港湾建設事務所が保管する小名浜港の写真やパネル、模型が展示されるなど、普段見ることができない資料を使った説明におよそ60名の受講者は熱心に聞き入っていました。



第24回 福島県地方港湾審議会

1月30日に福島県庁で福島県地方港湾審議会が行われました。

今回の審議会で、港湾計画の改訂について審議がなされました。小名浜港は、平成15年の港湾計画改定以降12年が経過しており、震災等による社会情勢の変化に伴い、小名浜



※写真はイメージです

港を取り巻く環境も大きく変化していることから、これからの変化に対応するため港湾計画を改訂することになったようです。

その計画の特徴としては知らないことも多く、地元の方への勉強にもなりました。それは

①福島県・東北地方の産業活動を支える基盤・物流の拠点

②石炭など燃料の輸入・供給拠点（国際バルク戦略港湾）

③福島県内有数の観光拠点を挙げられます。

しかし現状では、課題も抱えており、滞船の解消、クルーズ客船の誘致とその対応や、施設の老朽化への対応などがその1例です。

20年から30年程度先を見通した小名浜港の将来像から10年から15年程度先を見据えた中間計画を作成していくために今後審議が行われる予定です。これからは港湾審議会を通して、小名浜港への想いや将来像が益々膨らんでいくこととなります。

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成29年3月20日

2月全体会議

2月24日、小名浜まちづくりステーションで2月全体会議が開催されました。震災を経て、小名浜のまちが大きく変わりつつあります。一方でイオン進出に代表されるように港湾背後地の整備が進み、また花畑から南に向かって鹿島街道の整備も進んでいる一方で、市街地に飛び飛びの空き地が散在しはじめています。こうした都市機能の



整備と市街地の空洞化という両極化の流れを受け、これからの小名浜の姿を描く新たなランドデザインが求められているなか、2月の全体会議では、市民会議副会長・鈴木泰弘氏が「リノベーション」による市街地の再生を大きなテーマとして掲げながら、まちを「小名川・古湊地区／歴史と伝統」「港湾背後地／いわきの新たな核」「漁港区／漁業再生と港町」「竹町・横町・本町／空店舗・空地活用によるリノベーション」「リスポ周辺／リスポ再開発と新たな中心地」「鹿島街道沿線／小名浜らしい大通り」にゾーン／テーマ分けするという新たなランドデザインの骨子を提示しました。その骨子に会議参加者たちが具体的な意見をぶつけ、肉付けがなされるという、考察しがいのある会議となりました。

一 小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へー 3月全体会議を開催します

3月23日午後6時30分より、まちなかステーション小名浜3階において、3月全体会議を開催します。

今回はパートナーシップ委員会、まちなか潮目の委員会、歴史と文化づくり委員会、中心市街地活性化法認定特別委員会の各委員会より今年度の経過報告と来年度の事業計画などが報告される予定です。小名浜まちづくり市民会議の活動を知るいい機会ですので会員の皆様は是非ご参加ください。

会議内容など変更する場合がございますので詳しくは小名浜まちづくり市民会議（52-1275）までお問い合わせください。

しおがぜプロジェクト 発進!! Vol.5

東日本大震災から5年の月日が経過し、復興の途に就こうとしている小名浜で、ついに一つのプロジェクトが動き出します！

小名浜港に沈んでいる二隻の駆逐艦「汐風」と「澤風」をアニメーションの世界で蘇らせ、小名浜の賑わい作りをしていこうという「しおがぜプロジェクト」です。

主人公は星心平という名の、正義感が強く、競輪選手を目指している地元の高校生。小名浜名産のカジキメンチカツが大好物で、まっすぐで純粋な心を持つ心平くんが、澤風と運命的な出会いを果たし、時空怪獣との戦いに巻き込まれていきます。

三崎公園に眠っている澤風のタービンの代わりに心平くんがしなければいけないことは、澤風と合体することでした。二人の力が合った時に人力戦艦が誕生します。澤風・汐風と共に戦う星心平くんがどう活躍していくのか？ ついに上映となります！

上映日 3月20日
場所 いわき・ら・らミュー

小名浜のアニメをぜひご覧ください！
皆様のご来場をお待ちしております！



第3回 小名浜ハッピーデート

小名浜地区商店連合会主催の「小名浜ハッピーデート」が2月19日にカルチェエド・シャンブリアンで行われました。

参加者は自己紹介から始まり、ゲームやフリートークで盛りあがっていました。司会者やスタッフの後押しもあって、会場は大盛況。今回は女性30人、男性29人の参加者中、7組のカップルが成立し主催者も大喜び。



真剣に出会いを求めている方、来年も開催予定ですので、ぜひご参加ください。

小名浜学事始め

「仙台塚」

慶応4年(1868)の旧暦6月16日(現在の8月)、新政府軍が平潟に上陸。翌日から奥羽越列藩同盟軍との戦い(戊辰戦争)が始まりました。磐城平・泉・湯長谷藩と仙台・米沢・相馬からの援軍の銃器・兵数は、新政府軍に比べると旧式で少なく、6月28日に泉藩29日には湯長谷藩、そして小名浜が、新政府軍の支配下におかれました。藤原川と矢田川の合流点にある



▲仙台塚 (小名浜大原)

「二ツ橋の戦い」があったのは29日、富田小五郎率いる仙台藩兵32名が、さらに後退の中で合わせて73名が戦死しました。この戦死者を村人が埋葬した塚が仙台塚と呼ばれ、供養のための碑が建てられています。

第8回 いわきサントニャットマラソン 開幕

市制施行50周年の記念事業となった今年のいわきサントニャットマラソンは、過去最多のおよそ9,300人のランナーが参加し、浜風が強く吹く過酷なレース環境の中、それぞれの目標達成に向け、フィニッシュ地点となるアクアマリンパークを目指して疾走しました。出場した小名浜まちづくり市民会議の会員からは、「数年ぶりの快晴の中、気持ちよく走ることができた。また、沿道からの声援やフィニッシュ後のイベント会場も大盛況で、いわきらしさを感じられる素晴らしい大会だった」との声が聞かれました。



写真提供：いわき民報社

めぐるの囃き



第64回の開催を数えるいわき花火大会は、大きく3つのイベントで構成されています。

そのイベントの内容や来場者への協力要請事項などを広く発信するのが「広報委員会」です。

毎年、各イベントを担当する委員会が、工夫を凝らしながらその年の想いをイベント内容に織り交ぜて企画・運営していきます。

それらを皆さんへ正しく伝える役目を紙面、各種放送、ネット等の媒体を活用して進めている委員会です。

また、イベントには大勢の観客の皆さんが来場されます。来場者が快適に、そして安全にイベントを楽しんで頂けるように各種の注意事項や協力要請事項を整理し、わかりやすく皆さんへお伝えするための情報発信もしています。

広報委員会は地味な活動ではありますが、イベント当日の正確な情報を来場者へ伝える大切な役割をもつ委員会です。

(著：F・O)



小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。



市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 [いいね!](#) してね!

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは： [いわき市小名浜字本町11-1 \(まちづくりステーション小名浜\)](http://www.onahama.jp/)
TEL: 52-1275 FAX: 52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail: info@onahama.jp